

# 山口県感染症発生週報

(第37週:平成23年9月12日～9月18日)

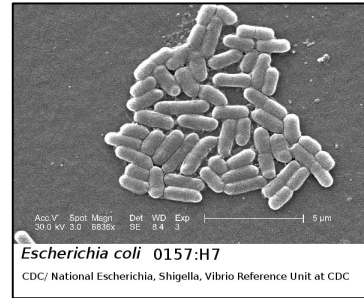
## 1 全数把握感染症

### 【2類感染症】

◆**結核**: 第33週追加:1例(宇部)。第34週追加:3例(いずれも宇部)。第36週追加:3例(下関、岩国、宇部)。第37週:4例(柳井、周南、防府、萩)。

### 【3類感染症】

◆**腸管出血性大腸菌感染症**: 第37週:2例(いずれも宇部 O157:VT1VT2、家族)。



## 2 定点把握感染症(5類感染症)

### (1)特記事項

- ◆**RSウイルス感染症**: 増加傾向が続いていますので、今後の動向に注意が必要です。
- ◆**手足口病**: 山口県では、第25週時点で手足口病の流行発生警報の発令をしています。第27週をピークに6週連続して減少し、その後2週連続してやや増加しましたが、再び減少しています。宇部、長門以外の地域では警報レベルが続いており、過去4年間の同時期と比較しても多い状況です。  
【警報レベル=宇部、長門以外のすべての地域】※
- ◆**伝染性紅斑**: 過去4年間の同時期と比較すると、今年は4年ぶりに高い水準で推移しています。  
【警報レベル=長門】※
- ◆**ヘルパンギーナ**: 減少していますが、萩ではやや多い状況です。  
【警報レベル=萩】※
- ◆**流行性耳下腺炎**: 警報、注意報レベルの地域はありませんが、過去4年間の同時期と比較すると多い状況が2010年から続いています。
- ◆**マイコプラズマ肺炎**: 患者発生報告数がやや多くみられます。
- ◆**無菌性髄膜炎**: 下関から2例報告がありました。患者はいずれも5歳で原因病原体は不明です。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。  
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuho.php>

### (2)週別発生状況

疾患名	35週	36週	37週	疾患名	35週	36週	37週
インフルエンザ	0	0	1	百日咳	1	0	0
RSウイルス感染症	27	33	38	ヘルパンギーナ	69	67	56
咽頭結膜熱	10	6	18	流行性耳下腺炎	45	60	37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	39	64	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	147	182	172	流行性角結膜炎	4	5	3
水痘	25	40	32	クラミジア肺炎	0	1	0
手足口病	315	241	198	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	23	28	23	マイコプラズマ肺炎	9	4	7
突発性発しん	47	43	47	無菌性髄膜炎	0	0	2

### (3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
RSウイルス感染症	3	1	2	10	0	0	22	0	0	38
咽頭結膜熱	5	1	0	2	0	10	0	0	0	18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	3	0	11	0	20	12	1	8	64
感染性胃腸炎	24	6	3	35	8	35	33	21	7	172
水痘	6	1	1	2	4	5	8	5	0	32
手足口病	46	18	19	46	13	31	11	2	12	198
伝染性紅斑	3	7	0	2	1	3	2	5	0	23
突発性発しん	15	1	4	9	4	10	3	1	0	47
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	13	2	1	5	2	4	21	0	8	56
流行性耳下腺炎	17	4	5	4	1	2	2	2	0	37
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	0	0	0	1	0	1	0	0	3
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	1	0	4	0	0	2	0	0	7
無菌性髄膜炎	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2

※平成23年9月27日にデータの追加がありましたので修正しました。